

勇気出して最初の一步を

大島地区消防組合消防本部龍郷消防分署は20日、龍郷町の円小学校(平田賢司校長 児童9人)で、「学校におけるBLS教育」のちを紡ぐプロジェクト」を行いました。2021年に続き2回目です。全児童9人は、同署の職員2人および県立大島病院救命救急センターの医師2人の話に熱心に耳を傾け、命の大切さや心臓マッサージの方法・119番通報の仕方などについて学びました。

円小でBLS教育 命を守る大切さ伝わる

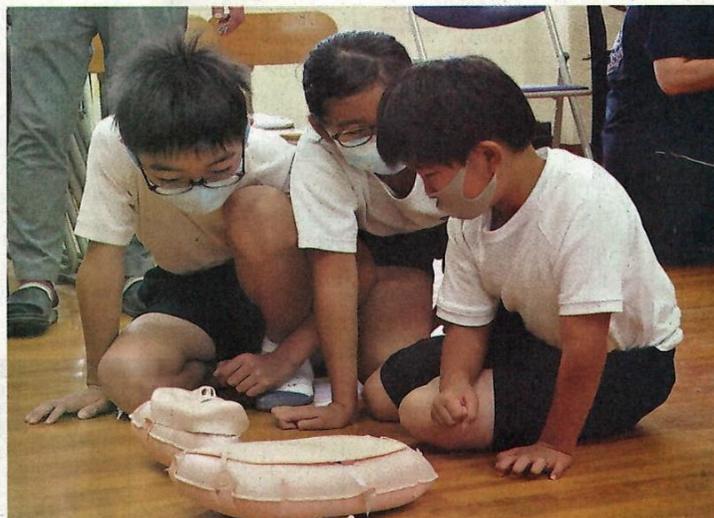
BLSとは、Basic Life Supportの略称で、心肺停止または呼吸停止に対する一次救命処置のことです。

人形を使って、反応の確認をする児童たち

このグループに分か講師の同病院救急科、人形を使った実践業務技師の平田悠哉さん、練習を行い、最後は児童が、BLSの流れで、児童たちに「ワンステッ」ある①安全の確認の反、2応の確認③119番通報、杖をつ贈られました。報④呼吸の確認⑤心臓、平田さんは「救急隊マッサージについて、や医師が頑張っても、て、「鬼滅の刃」やキ、一番重要なのは最初の「ヤクサー」(いっしょく、対応す。勇気を出しん)を用いて、児童たて最初の一步を踏み出ちに分かりやすく説明して」と呼び掛け、「思った以上に小学生の、意識と理解度が高く積

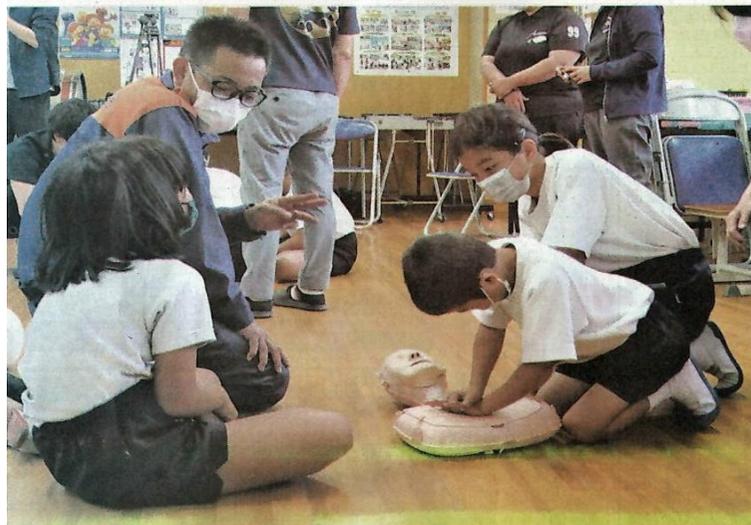


ワンステップステッカーを手に記念撮影

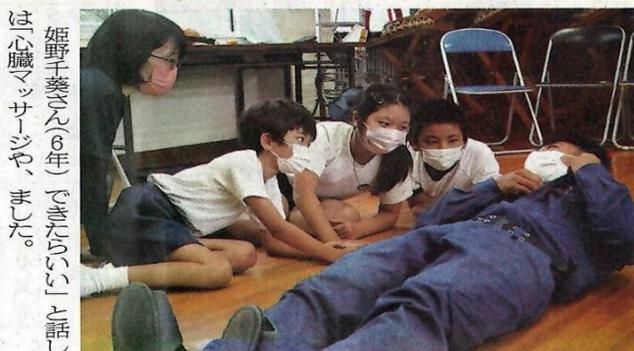


119番通報をチャレンジしている児童

極的で良かった」と感、うることだと考えて欲、想を述べました。しい。歩を踏み出し、もたちに命を守る大切、同署救命係長の森一、手を差し伸べる子ども、郎さんは「子どもたちが、さか伝わったと話し、ら(こ)て将来のこと、らましました。は、平田校長は「医師の



は心臓マッサージや、また。は、平田校長は「医師の、119番通報のやり方、が分かった。緊張する、かもしれないけど、今日、の(こ)を思い出して、を交代で行う児童たち



呼吸の確認のやり方を教わる児童たち

